

# 議会だより



日本一人口の多い村

題字： ちばな かなめ  
知 花 要 (読谷小学校4年生)

63号 2015年9月  
定例議会



## 主な目次

平成26年度一般会計決算……………P 2

一般質問…………… P 8～19

村立古堅南小学校運動会

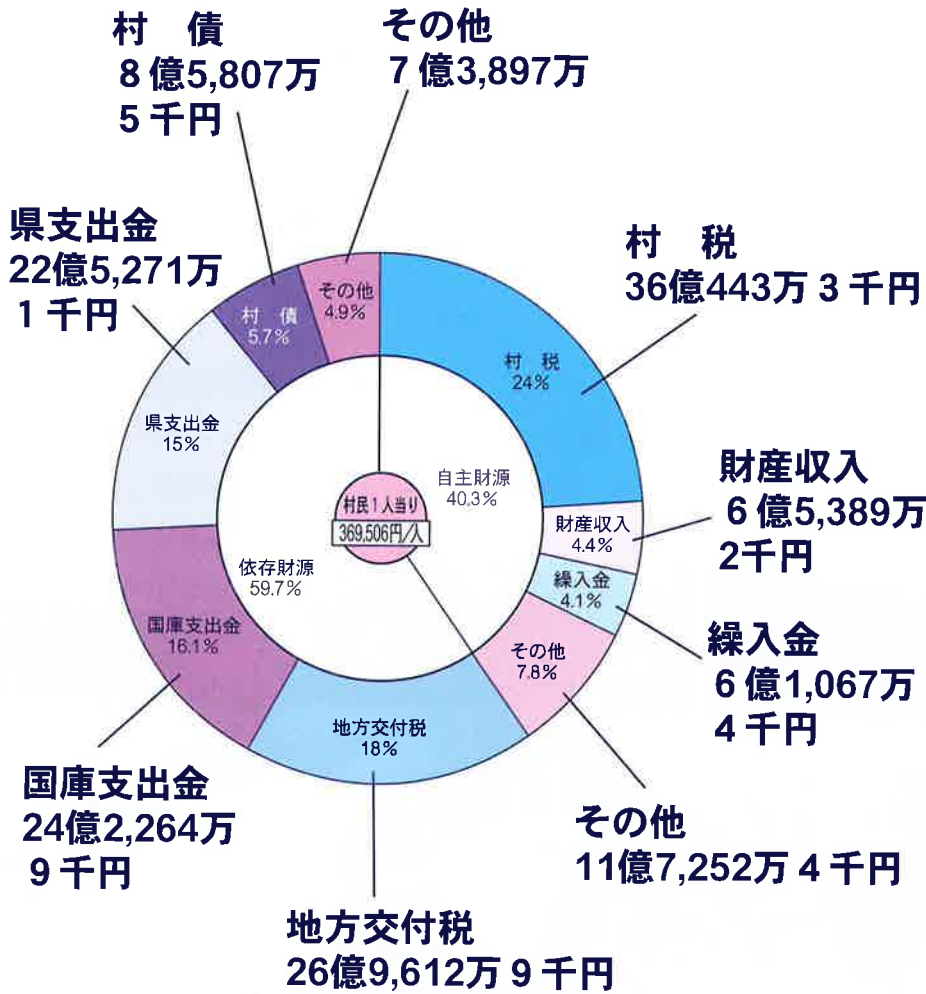
2015年(平成27年11月発行)



# 一般会計決算

# ように使われました！

## 歳入 150億1,006万円



平成26年度の歳入決算については、予算現額155億641万5千円に対し決算額は150億1千6万1千円で予算現額に対する収入率は96.8%となっている。対前年度比較で収入済額で2億4千40万2千円(1.6%)の増になっている。

村税は、歳入全体の24%を占め、決算額は36億443万3千円で前年度より5千984万2千円(1.7%)の増となっている。また、収入未済額も2億8千426万3千円で前年度比較で2千565万5千円(8.3%)の減になっている。

歳出決算については、予算現額155億641万5千円に対し、支出済額は145億5千875万6千円、翌年度繰越額5億9千723万4千円、不用額は3億5千422万4千円で執行率は93%となっている。

翌年度繰越額については、予算現額の9.3%で前年度より1億4千366万円(19.4%)の減になっている。

本年度の「実質収支に関する調査」によると、実質収支額は3億5千601万2千円の黒字になっていて、これから前年度実質収支額を差し引いた単年度収支は857万4千円の黒字となっており、現段階においては健全財政といえる。

経常収支比率は財政構造の弾力性を示す指標とされる。本年度の比率は84.0%で前年度より19ポイント高くなっている。この比率は町村にあつては70%程度が妥当とされ、75%を超えると注意を要するとされ、年度ごとに経済情勢の変動もあり一概に判断できるものでもないが、財政の硬直化がやや進んでいるのが懸念される。

平成27年3月末日  
人口：40,622人

**歳入・歳出**  
4月1日から翌年3月31日の一年間を「会計年度」という。この会計年度におけるすべての収入を歳入といい、全ての支払いを歳出という。

**自主財源**  
村が自主的に収納することができる財源。財産収入、固定資産税、村民税など。

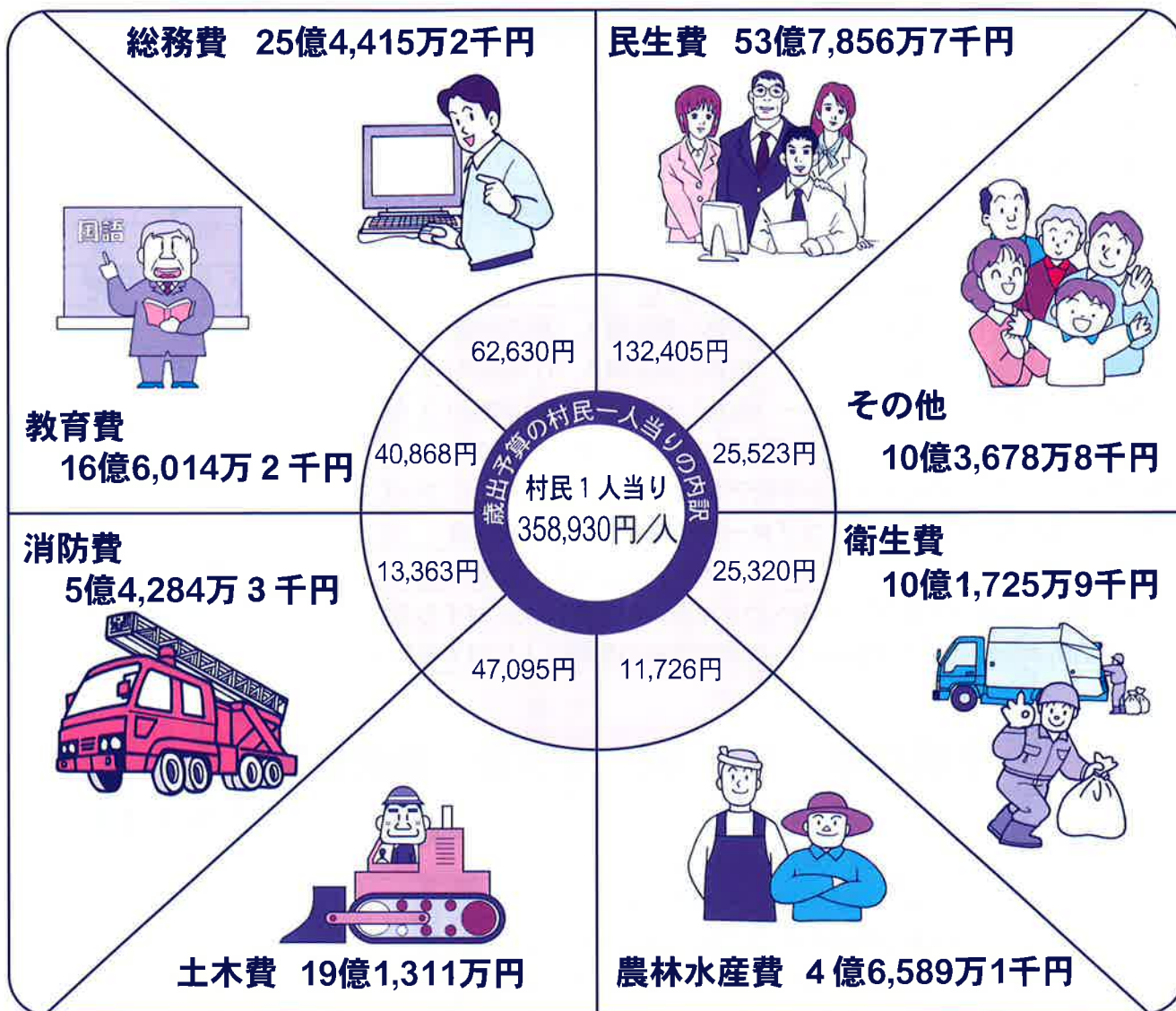
**依存財源**  
国や県から割り当てられる補助金や交付金

**実質収支額**  
歳入歳出差引額(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

**経常収支比率**  
比率が低いほど臨時的経費に充当できる一半財源に余裕があるという。一般的に70~80%が適正。90%を超えると財政硬直化。

# 私たちの税金 この

**歳出 145億5,875万円**



## 平成26年度特別会計決算

平成26年度読谷村診療所特別会計決算 **189,424,153円**

平成26年度読谷村国民健康保険特別会計決算 **5,601,295,657円**

平成26年度読谷村後期高齢者医療特別会計決算 **362,851,172円**

平成26年度読谷村下水道事業特別会計決算 **468,704,897円**

平成26年度読谷村水道事業会計決算 **1,079,735,190円**



## 平成27年 第441回 臨時会 議決結果

| 件 名                       | 議 決 結 果 |
|---------------------------|---------|
| 平成27年度読谷村一般会計補正予算（第3号）    | 原案可決    |
| 憲法違反の「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書 | 原案可決    |
| 沖縄蔑視と報道機関への圧力発言に対する抗議決議   | 原案可決    |

## 平成27年 第442回 臨時会 議決結果

| 件 名                                   | 議 決 結 果 |
|---------------------------------------|---------|
| 平成27年度読谷村一般会計補正予算（第4号）                | 原案可決    |
| 平成27年度読谷村診療所特別会計補正予算（第2号）             | 原案可決    |
| 平成27年度楚辺通信所周辺復帰先地公共施設整備工事請負契約について     | 可 決     |
| 平成27年度残波岬公園改築工事請負契約について               | 可 決     |
| 平成27年度比謝公園改築工事請負契約について                | 可 決     |
| 物品供給（読谷村地域振興センター（仮称）備品購入（放送設備））契約について | 可 決     |
| 物品供給（読谷村地域振興センター（仮称）備品購入（庁用器具））契約について | 可 決     |
| 物品供給（読谷村地域振興センター（仮称）備品購入（厨房機器））契約について | 可 決     |
| 読谷補助飛行場跡地伊良皆地区広場整備工事請負契約について          | 可 決     |
| 物品供給（ICT教育強化事業（小学校デジタル教科書））契約について     | 可 決     |
| 米陸軍特殊作戦用MH60型ヘリコプター墜落事故に対する意見書        | 原案可決    |
| 米陸軍特殊作戦用MH60型ヘリコプター墜落事故に対する抗議決議       | 原案可決    |
| ニライ消防本部読谷消防署敷地内への米軍車両の無断侵入に対する意見書     | 原案可決    |
| ニライ消防本部読谷消防署敷地内への米軍車両の無断侵入に対する抗議決議    | 原案可決    |

## 平成27年 第443回 定例会 議決結果

| 件 名   | 議 決 結 果  |
|---|----------|
| 平成26年度読谷村一般会計歳入歳出決算認定について                   | 認 定      |
| 平成26年度読谷村診療所特別会計歳入歳出決算認定について                | 認 定      |
| 平成26年度読谷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について             | 認 定      |
| 平成26年度読谷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について            | 認 定      |
| 平成26年度読谷村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について              | 認 定      |
| 平成26年度読谷村水道事業会計利益の処分及び決算の認定について             | 原案可決及び認定 |
| 平成27年度読谷村一般会計補正予算（第5号）                      | 原案可決     |
| 平成27年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）                | 原案可決     |
| 読谷村個人情報保護条例の一部を改正する条例                       | 原案可決     |
| 読谷村地域振興センターの設置及び管理に関する条例                    | 原案可決     |
| 読谷村手数料徴収条例の一部を改正する条例                        | 原案可決     |
| 平成27年度 読谷村公共下水道（汚水）工事第7処理分区（27-2工区）請負契約について | 可 決      |
| 読谷村議会会議規則の一部を改正する規則                         | 原案可決     |



5 読谷村議会 だより

| 件 名  | 議 決 結 果 |
|--|---------|
| 平成27年度（仮称）読谷村新火葬場建築工事請負契約  | 可 決     |
| 平成27年度（仮称）読谷村新火葬場電気工事請負契約  | 可 決     |
| 平成26年度沖縄県町村土地開発公社事業及び決算の報告について   | 報 告     |
| 平成26年度読谷村健全化判断比率の報告について  | 報 告     |
| 平成26年度読谷村下水道事業特別会計資金不足比率の報告について  | 報 告     |
| 平成26年度読谷村水道事業会計資金不足比率の報告について   | 報 告     |
| 村内製品の奨励及び村内企業の優先使用に関する決議   | 原案可決    |
| 閉会中の継続調査申出について<br>・文教厚生常任委員会<br>読谷診療所と福祉業務の関わりについて<br>・建設経済常任委員会<br>県内パークゴルフ場の視察調査 | 決 定     |

| 件 名                          | 議 決 結 果 | 議 席 | 1      | 2     | 3     | 4     | 5     | 6      | 7      | 8     | 9      | 10     | 11     | 12      | 13    | 14     | 15     | 16      | 17    | 18     | 19    |
|------------------------------|---------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|---------|-------|--------|--------|---------|-------|--------|-------|
|                              |         | 氏 名 | 與那覇 徳雄 | 知花 徳栄 | 新城 昭彦 | 山内 政徳 | 山城 正輝 | 仲宗根 盛良 | 仲 眞 朝雄 | 新垣 修幸 | 當 間 良史 | 比 嘉 幸雄 | 津波 古菊江 | 上 地 利枝子 | 上 地 榮 | 伊 佐 眞武 | 長 浜 宗則 | 神 谷 嘉 栄 | 城 間 勇 | 國 吉 雅和 | 伊 波 篤 |
| 憲法違反の「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書    | 原案可決    |     | ○      | ○     | ○     | ×     | ○     | ○      | ○      | ○     | ×      | ×      | ○      | ○       | ○     | ○      | ×      | ○       | ○     | ○      | ○     |
| 平成26年度読谷村診療所特別会計歳入歳出決算認定について | 認 定     |     | ○      | ○     | ○     | ○     | ×     | ○      | ○      | ○     | ○      | ○      | ○      | ○       | ○     | ○      | ○      | ○       | ○     | ○      | ○     |

※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は－、欠席者は欠としています。  
議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、除と表現しています。

## 総務常任委員会

### 総務常任委員会、閉会中の審査 「歳入・歳出予算各市町村比較等調査」の報告

（目的）

他市町村との予算比較により、本村の財政状況や課題等を把握し、村民福祉の向上と地域活性化に活かすため。

（調査経過）

本委員会は、6月以来これまで15回の委員会を開催してきました。調査内容は主に町村議長会会報による財政資料を基に他市町村との比較を行っています。比較対象の市町村は読谷村・嘉手納町・北谷町・恩納村・南風原町・南城市・沖縄市・那覇市・西原町の9市町村です。

調査内容は、歳入では平成25年度決算歳入、一般財源、地方交付税、国庫支出金、自主財源等の1人当たり金額を割り出し、審議しています。同時に財政力指数、市町村税徴収率、実質公債費比較等の指数等も検証しています。また歳出は、総務費、民生費、教育費、義務的経費、投資的経費等の指標の比較・検証、その他公共施設状況も調査しています。

他市町村比較で順位や金額の高さ、低さだけで一概にその自治体の住みやすさ、住民生活の良し悪しを推し測る事は出来ませんが、比較・検証する事により本村の特徴や課題が見えてきます。



## 文教厚生常任委員会

### 文教厚生常任委員会閉会中の継続調査

- 村立保育所、認可保育園、認可外保育園の現状調査（子ども子育て支援制度の導入に伴う、現場の意見聴取）
- 読谷村診療所と福祉業務の関わりについて
  - ・ 介護と要支援のサービス内容について

- ・ 新年度から介護予防・生活支援サービスが移行することについて地域医療機関と地域福祉サービス事業所との取組みは
- ・ 介護1～5と要支援1と2の男女別利用者数
- ・ 村立診療所との取組みについて



## 建設経済常任委員会

### 建設経済常任委員会閉会中の継続調査

- 各種団体との意見聴取（平成27年5月～9月）
  - ・ 中部地区和牛改良組合読谷支部
  - ・ 読谷村漁業協同組合
  - ・ 読谷山花織事業協同組合
  - ・ 読谷村商工会及び建設部会

- ・ 農業支援センター研修生
- ・ 読谷村観光協会

- 県内パークゴルフ場の視察調査（平成27年9月～）
  - ・ 国頭村くいなパークゴルフ場、鏡地パークゴルフ場





# 意見書・抗議決議

## 憲法違反の「安全保障関連法案」の廃案を求める意見書

第441回

可決

平成27年 7月15日

沖縄県読谷村議会

## 沖縄蔑視と報道機関への圧力発言に対する抗議決議

第441回

可決

平成27年 7月15日

沖縄県読谷村議会

## 米陸軍特殊作戦用MH60型ヘリコプター墜落事故に対する意見書・抗議決議

第442回

可決

1. 墜落事故の原因を徹底的に究明し、事故原因を速やかに公表すること。
2. 墜落事故への再発防止策を公表し、実行すること。
3. 安全対策及び再発防止策が講じられるまでの間、同機種の飛行を中止すること。

平成27年 8月18日

沖縄県読谷村議会

## ニライ消防本部読谷消防署敷地内への米軍車両の無断侵入に対する意見書・抗議決議

第442回

可決

1. 無断侵入の詳細を村民に公表するとともに消防当局に謝罪すること。
2. 米軍人の教育と綱紀肅正を真に徹底すること。
3. 実効性ある再発防止策を公表し、兵員に徹底すること。

平成27年 8月18日

沖縄県読谷村議会

## 村内製品の奨励及び村内企業の優先使用に関する決議

第443回

可決

平成27年 9月25日

沖縄県読谷村議会

Q 村政に問う!! 一般質問



榮 上地

各自治会の空家の実態とその活用法は

**問** 本村には860戸の空家があるが、各自治会毎の実態はどうなっているか。兵庫県の宝塚市で「空家住宅情報バンク」を設置し、地域の活性化と福祉の増進に役立っているが、本村としての利活用は

**答** 実態把握については行政事務連絡会において依頼をしている。利活用については要支援世帯をはじめ住宅困窮世帯への住居供給に活用できないか検討する。

闘牛場（ドーム型多目的広場）の建設については用地確保できないか引き続き検討する

**問** 「闘牛文化の振興と発展」

をテーマに今年の五月十日に全国闘牛サミット協議会総会が開かれ、地球の活性化に役立っているとの報告があった。本村の取り組み状況は

**答** 赤犬子展望広場の位置づけは地形的に厳しい。引き続き村有地での用地確保ができないか、検討をしたい。

本村には所有者不明地は41筆1万284㎡となっている

**問** 所有者不明地の現状とその対策は

**答** 読谷村管理の当該地は12筆1千742㎡で県管理のもの29筆8千542㎡となり、合計が見出しの通りになっている。対策については、沖縄県所有者不明土地検討委員会において、実態調査中である。村においては年1回、村広報で周知を行っている。

赤犬宮には駐車場、トイレ、倉庫等の整備を考えている

**問** 赤犬子展望広場とロードパークの事業をはじめ赤犬子宮の事業内容は

**答** 当事業は5つのテーマを設定し、概算事業費で約19億1千7百万円を予定している。着手年度については、大木地区区画整理事業及び国道バイパスとの整合を図りながら進めていく。赤犬子宮の事業内容は見出しの通りである。

国保特別会計の赤字は正については引き続き訴えていく

**問** 沖縄戦により前期高齢者の割合が低く、交付金が少ないことに対する是正要求の経過と現状は

**答** 県知事を筆頭に関係6団体は昨年8月26日に国に要請、昨年10月20日に国に再要請、今年1月21日22日にも再要請しているが、状況は改善されていない。赤字は正できるように訴えていく。

福祉避難所として利用可能な施設を調査し、指定に向け検討する

**問** 福祉避難所の設置状況と今後の対策は

**答** 現在、福祉避難所として指定している施設はない。災害が発生した時、支援が必要な人数が2千192人となっており、今後見出しの通り取り組んでいく。



赤犬子展望広場事業で赤犬子宮には駐車場とトイレ等の整備が図られる。



宗則 長濱

ふるさと納税制度を活用した新しい財源の確保をどう取り込むか

**問** 平成20年からスタートしたふるさと納税制度は平成27年度に改正され全国的に寄付金が増加している。政務活動で訪れた宮崎県綾町では26年度の寄付金が9億4397万円、寄付件数は6万4316件に達した

**答** 読谷村の特産品としての把握している品目を問う

**答** 紅いもの関連商品、泡盛残液、そべり、黒糖もずく井、そらめ味噌等が認知されている

**問** 読谷村の平成20から26までの寄付件数と寄付金額を問う

**答** 寄付件数は110件で寄付金額790万

**問** 寄付金はどの様に活用されているか

**答** 地域保健活動推進、ゴミ減量化・美化活動促進、

地域ブランド構築推進、村史編集事務管理事業、防災事業、図書館運営事業に合計394万円が活用された。

**問** 読谷村の寄付者へのお返し品を問う

**答** 読谷村100周年記念切手と広報よみたんをお届けしている。

**問** 読谷村の特産品としての把握している品目を問う

**答** 紅いもの関連商品、泡盛残液、そべり、黒糖もずく井、そらめ味噌等が認知されている

**問** ふるさと納税制度をかつようとしたメリットは寄付金の増加、観光客の増等が考えられが読谷村として納税に関する考えと、今後の取り組みについて問う

**答** 読谷村に寄付というかたち応援してくださる方々の気持ちにたいして、少しでも特産品等でお返しできないか、県内市町村の例





| ふるさと納税額全国トップ5 |         |            |
|---------------|---------|------------|
| 順位            | 自治体     | 金額 ※歳入ベース  |
| 1             | 長崎県平戸市  | 12億7884万円  |
| 2             | 佐賀県玄海町  | 9億3206万円   |
| 3             | 北海道上士幌町 | 9億1098万円   |
| 4             | 宮崎県綾町   | 8億3248万円   |
| 5             | 島根県浜田市  | 6億2170万円   |
| 沖縄県読谷村        |         | 2,404,616円 |

ふるさと納税人気ランキング

読谷村では家庭から排出されるゴミが増加傾向にあります。ゴミ減量化、ゴミ資源化の対策の取り組みを伺う

問 環境美化センターの焼

や先進地域の状況について調査、検討を進めていきたいと考えています。基本的な考えとして、ふるさと納税制度の趣旨に逸脱することなく純粹に読谷村を応援したい気持ちで寄付して下さる方々に応えたい。

却炉のこれまでの費用と今後の設備の改修工事費用は

答 焼却炉は46億円、今後の設備改修費で27億円予定。

問 焼却灰の最終処分場の能力年数は

答 焼却残渣能力年数は残り18年と考える。

問 焼却炉、最終処分場の延命対策に今後の対策について伺う。政務活動で訪れた鹿児島県大崎町は、ゴミ分別も28種目でゴミの減量化85%、資源化が実に80%に達している

答 地球環境や将来の最終処分確保の問題も視野に入れ、ゴミの減量化と資源化に努めるゴミの分別のさらなる徹底と新たな分別の必要性も考えている。



仲宗根盛良

役場敷地内等の松くい虫対策について

問 松くい虫から役場敷地内と中央残波線の松を保護する為に、樹幹注入を考慮するべきではないか

答 早目に対応します。

問 残波岬公園内も松くい虫が蔓延しており、その対応策を求める



庁舎前の松林

答 伐採作業と松林保護の為樹幹注入も含め県とも協議して進めたい。

学校給食での食物アレルギー対応策は

問 小中学校での食物アレルギー該当児童は何人か

答 小学校が204人、中学校が97人、そのうち学校で管理が必要な児童は小学校49人、中学校53人です。

問 対象児童への対処方法を伺いたい

答 アレルギー詳細献立表を配布し、「弁当対応」と「一部除去食対応」を組み合わせて実施している。

問 村立保育園での食物アレルギーの実態と対応策はどうなっているか

答 アレルギー児は17人で、原因食品を除去した給食を提供し、園全体で情報を共有して対応している。

児童生徒の携帯電話利用とネット犯罪からの防止策について

問 本村の小中学生の携帯電話利用実態はどうなっているか

答 読中47%、古中52%、読小29%、読小29%、喜小24%、古小33%、古南小28%の状況です。

問 各学校での携帯利用と犯罪防止対策はどうなっているか

答 学校への携帯持ち込みは原則禁止です。児童生徒へは定期的に指導を行い、保護者をはじめPTA関係者との連携のもとに取り組みを行っている。

具体的な内容が出ていないので、今後さらに情報収集に努めます。

問 国としては民間委託を強化していくと言われ、本村の行政サービスと財政運営はどうなっていくか

答 早急に制度変更の詳細を確認しつつ、本村の実情とあるべき姿を勘案して事業計画を精査する。

固定資産税等の全期前納報奨制度廃止後の状況について

問 廃止後の収納状況は

答 固定資産税が1億5千万円の減、村民税が2千556万円の減です

問 制度廃止後全期前納者の数を伺いたい

答 システム変更を行った為数字の確認はできない。

問 平成28年から地方交付税の算定方法に見直しがあると報じられているが、その内容を伺いたい

答 現在のところ、国から



伊佐 眞武

### 本村の住宅施策について

**問** ①村営住宅、県営住宅それぞれ過去3年間の入居申込者数の推移は

**答** 村営住宅が3年間平均で62件、県営住宅60件。

**問** その内、入居が決まった世帯は何件でしたか

**答** 県営住宅が毎年3件。村営住宅1件か2件。

**問** 本村は公営住宅の比率が低い。村営住宅の新設が県営住宅の誘致は検討していますか

**答** 村、県も公営住宅の新設方針は推進せず、長寿命化計画を進めていく方針。

**問** 住宅に困っている要支援世帯への支援策はどのような事を検討していますか

**答** 平成33年までに230世帯の方々を公営住宅へ導入していきたい。その方策は、収入超過問題の整理や、民間住宅の借り上げ及び家賃補助制度の導入で補っていければと考えています。

### 救急医療キットの普及について

**問** 自宅で倒れた場合等、救急救命に有効な医療情報を入れる容器があります。①その容器の現在の配布数は何本か

**答** ②配布対象者ごとの様な方々か

**問** 現在566本を配布しており、対象者は65歳以上の独居高齢者、65歳以上の方のみ世帯及びそれに準ずる世帯。障害者のみの世帯等の方々です。

**問** 無料配布の対象者約二

千世帯に、もれなく配布すると同時に、一般の世帯にも普及していく必要があると思えますがどうですか

**答** ニライ消防本部とも話をしながらこのキットの普及について検討したい。



各家庭に救急医療キットを普及しよう！

### 県道6号線、楚辺から古堅小学校入口間の交通渋滞について

**問** ①渋滞改善策として古堅小学校の信号調整が有効と考えますがどうですか

**答** 中部土木事務所を確認したところ、信号調整を含めて警察等の関係機関と調整していると聞いています。

**問** 「信号調整を含めて」と言う事は他の要因も考えていると言う事ですか

**答** 渋滞の要因として、当該地が五差路の変則交差点になっており、交差点改良と合わせて信号調整を行うとの事です。

### 村道大湾7号線について

**問** ①村道認定から一年半経過しましたが今後の事業スケジュールはどうなっていますか

**答** 平成29年度に実施設計等の委託業務。平成30年度に用地、物件の取得関係。平成31年度に工事というように3年スパンでの事業計画を考えております。



當間 良史

### 「品質の良いバイオディーゼルを！」

**問** 近年、自然再生事業やバイオマス活用事業など地域ベースでの取り組みが全国各地で行われているが本村の取り組みを伺う

**答** バイオディーゼル施設での廃食用油を精製し、ディーゼル燃料に返還している。その他の取り組みとして、バイオマス試験研究施設において、被害イモ等を炭化し、出来た炭の活用方法を研究している。

**問** バイオディーゼル燃料の生産量と使用状況および、販売価格は



**答** 廃食用油の回収量が年間6万2千リットルでそこからバイオディーゼル燃料を約4万リットル燃料(右)

**問** 施設で生成されたバイオディーゼル燃料は、他の施設の燃料に比べ質が悪く使い辛いとの声もあるが

**答** 精度の高い精製をする機器を購入するには予算がかかるため、今現在は検討していないが、今後状況等々も含め調査研究を行って行きたい。





### 「中小企業を盛り上げる施策を！」

**問** 村内の中小企業（小規模事業者）の数は

**答** 117事業者が村内で営業している

**問** 県は平成20年に「沖縄県中小企業の振興に関する条例」を策定、その後市町村に広がっているが、本村の取り組みは

**答** 本村では同類の条例はございませんが、セーフティネット保証認定制度を行っている事業者の支援を行っている。

**問** 建設工事における建設・土木と電気工事の分類発注はどの様におこなわれているか

**答** 現在読谷村で発注している工事では、地域振興センター建設工事及び火葬場建設工事といった箱物の整備に関しては分離発注を行

っています。

**答** 以前にも分離発注を行った経緯があるので、できるだけ分離できる部分は分離し発注していきたい。

### 「子供たちにより良いスポーツ環境を」

**問** 熱中症対策として全校に冷水器と製氷機を設置しては、また紫外線の強い沖縄県において学校の日焼け対策は

**答** 現在、5小学校中4校が設置しております今後については父兄の皆さまや学校側と相談していきたい。日焼け対策については、日焼け止めの使用は禁止してないが、香料が入った制汗スプレーなどは禁止している。



山城 正輝

### 県知事の辺野古「取り消し問題と中谷大臣との会談の公開について」↓「申し上げられない。」「ひかえたい。」

**答** 知事の行政手法については、申し上げることはない。

**答** 懇談の内容は、非公式に行われたもので、述べることは控えたい。

**村長反問** 辺野古等について具体的行動を参考にしたい。

**答** 「やりたい人がやりたい時にできることをしよう。」という考えを評価。押しつけがましい事は、すべきでない。20回以上行き、基金には、概に3万円協力。

役場周辺における旧地主関係者への旧飛行場用地有権回復問題について↓「用地の

### 貸し付け、売り払いについて説明していく。」

**答** 地主会からの要請を調整して、理解を深めるため支援させて頂く。早めに産直契約、貸し付けし、売り渡しの交渉に入っていきたい。

**村道用地の買い上げ問題について**（村道親志波平線内座喜味前田原）↓未買収23件中17件、相談、調整中。

**答** 代替地要望3件。残り買い上げ、契約済3件、交渉中4件計7件。宅地転用要望2件。（農地転用については）許可権者は、県知事になってるので、協議しながら判断していく。

河川、排水による個人有地浸食問題について（座喜味板針原）↓「国道事務所調査、持ち帰り検討。」

**問** 喜名小一帯からの排水に読谷道路の排水が加わって河川が、田畑を千坪程度浸食していると思われる

**答** 国道事務所と連携をとりながら対応策を考えていく。ココマート前の谷間についても口頭で事業化できないか要望したしである。

**国道バイパス読谷道路内用地買い上げ問題について**（座喜味板針原内）↓「未買収理由示されず、騒音対策は、調整する。」

**問** 国道58号バイパスがオキハムから入ってくる。地域には、レストラン、養豚場、養鶏場などがある。騒音、排水対策は、どうなっているか

**答** 用地買い上げ契約は、89%。（未買収の理由は）確認できていない。（騒音、排水について）今後問題が発生した場合は、村と調整していきたいと答えていた。



世界遺産バッファゾーン内カラ小

**集落内里道（村有地）の整備について**（座喜味二班ミীগー前）↓「地元と調整必要。」

**問** 世界遺産座喜味城址バッファゾーン内で、共同二ブガーが3箇所あり、ボンガンガラ、滝、福木屋敷などがある。川沿いは、浸食も起こっている

**答** 約180Mある。昔ながらの光景が残っている。関係機関、地元との調整等が必要。浸食現場は、状況確認したい。



上地利 枝子

**波平大当地域の（特に村道中央残波線から県道6号線の縦ライン）**

**問** 雨水対策は

**答** 大当地域につきましては雨水処理の問題、課題等の解決に苦慮しており、改めて関係機関などの調整を行い、対策ができるよう努めてまいります。

**問** 村道認定をし早急に整備すべきだともいますが

**答** 村道認定するためには、おおむねの道路占拠を決め、最終的には関係者、地権者の同意を得ることが最低限必要だと思っておりますので今後検討してまいります。

**座喜味城跡周辺の活性化について**

**問** 入場料について  
**答** 新歴史民俗資料館建設とあわせて検討中

**問** 通り沿いに観光おみやげ品店の設置をして欲しいと観光協会から要望がありますが、村としての考えについて  
**答** 商工観光課としてもお土産品、特産品等販売できないかというのとは多々あります。担当している課で整合性をとりながら、なるべく経済効果があるような、お金不落ちるような仕組みづくりが出来ないか検討していきたいと思っております。

**問** 古民家である「まるみぬ瓦屋」の活用について村としての考えは  
**答** そこは座喜味自治体の所有であります。村としては歴史文化を学ぶ場や景観資源として考えております。

**問** 子ども達が歴史を学ぶ場所として重要だと思えますが教育長としての考えを伺います。  
**答** 私もそこを二、三度ほど訪ねて、なかなかいいところだなというふうに思っています。学校にもそういう紹介をしているところです。

**問** 最近では高齢者の方々が訪れて昔懐かしい風景を見て涙ぐんでいる姿もあるとのことですが福祉的な視点から生活福祉部長としてどのようにお考えですか  
**答** お年寄りの皆さんが、いわゆる認知証にならないような一つの手法として、小さいころ遊んだ、そういう生活の場に使った道具の一つの術だと聞いておりますので、そのような活用方法は大きい期待できます。



今後歴史を学ぶ場として期待されるまるみの瓦屋

**問** 座喜味城跡全体の活性化について村長としてどのように考えていますか  
**答** ハード事業、ソフト事業を活性化させていくという意味で、検討していきたいと思っております。

**本村小学生の放課後の過ごし方について**

**問** その人数は

**答** 学童(348人) 児童館(21人) わんぱく広場(103人) 部活動(892人) 塾(869人) 家で過ごしている(901人) その他(51人)

**問** その他の質問

・今年四月に施工された生活困窮者自立支援法について本村の現状は

・介護保険の改正によって、市町村が取り組む地域支援事業について

**村道中央残波線について**



新城 昭彦

**問** 中央残波線沿いの乗り面と畑への進入路は

**答** 中央残波線と県道6号線への取り付けは本線路の横断勾配が2.3%となっておりことから、隣接する畑等と中央残波線と高低差により乗り面が生じる乗り入れに支障を来している、関係者と相談をし、検討をした

**問** のり面の間地ブロック積みと土留めについて

**答** 地主の皆さんに説明をし、間地ブロック積み希望された方は間地ブロックが積まれている。

**問** 高さが生じ、耕運機等、畑作業が危険と思うが転落防止等の対策は

**答** ワイヤメッシュなど色々の方法も現場を見なが

ら地権者と意見交換をし、安全策を検討する。  
**問** 村道波平1号線を中央残波線に接続は  
**答** 村道波平1号線は、跡地利用地区計画で歩行者専用道路に位置付けられ、車両が中央残波線への進入は出来ない道路になっている。  
**問** 村道波平5号線と中央残波線との接続は  
**答** 村道波平5号線は、楚辺通信施設所跡地利用地区計画における主要区画道路を路経由して、中央残波線につなぐ道路計画となっている。



中央残波線沿いの、のり面



### お年寄りひとり世帯の安心、安全に暮らせる環境づくりについて

**問** ひとり世帯（65歳以上）件数は

**答** 10月1日時点で、1,284世帯

**問** 家庭訪問や話し相手などの情報交換は

**答** 介護予防事業で要介護状態等の恐れがある高齢者の家庭訪問をして情報交換を行っている。閉じこもりなどが心配される方については、地域サロンの活動も実施している。

**問** 行政や地域が協力して、安心、安全、見守りたいのような組織と環境づくりが出来ないか

**答** 読谷村社会福祉協議会と協働で、地域支え合い体制づくり推進事業を推進して、支援が必要な方の把握、見守り、声かけ活動を実施している。平成26年度までに5地区で地域支え合い活動委員会を立ち上げ活動をしている。

**問** 地域支え合い活動委員会とは

**答** 民生委員、児童委員、地域の自治会長、公民館職員各種団体の皆さんで、支援が必要な方のピックアップして、情報交換をして行き、随時、見守りが必要な方は、近くの方がさりげなく見守って行く。

### 伝統文化で地域おこしと人材育成について

**問** 伝統芸能が受継がれている自治会は

**答** 19自治会

**問** 保存会等指導組織がある自治会は

**答** 14自治会

**問** 小中高校生への指導受け継ぎは

**答** 15自治会

**問** 行政からの支援が出来るか

**答** 記録、保存する事業、ノーベル基金の活用。



津波古菊江

### エコステーションの設置について

**問** ごみの減量、発生を抑制し、再利用、リサイクル、再資源化で使い捨ての社会から循環型社会へ向けて環境行政の情報を発信する拠点施設エコ・ステーションの設置について伺います

**答** 読谷村のごみ行政の中で取り組むべき課題、リサイクル率を上げる方法や分別収集の方法の工夫等ごみ減量化に向けての全てを含めた形で議論し、エコステーションの設置も含めて村民や多くの場で議論を深めて意見交換をしながら中身の議論を深めていきたい。

### 環境整備について

**問** ①国道58号北向けの大湾バス停付近の緑地帯のデイゴの木の手入れについて

**答** 地域と相談しながら剪定を行いたい。

**問** ②古堅南幼稚園通りの街路樹の剪定と防犯灯の整備について

**答** 9月をメドに剪定する（県道管理者に確認）。防犯灯の設置については街路樹の剪定によって一灯設置されているがきれいかかっているので確認して対処を望む。

### 長田川の浚渫作業について

**問** 近年、長田川下流の水位が以前より高く感じるとの声があるが浚渫作業はどの様にされているか

**答** 沖縄県企業局北谷浄水管理事務所への確認で2年

に1度行う、現在の状況は平成27年度中に浚渫工事を完了する予定との回答であり、遅くとも1月か2月頃には完了すると思うが再度確認をしていく。

### 古堅南小学校区「みらい児童館」について

月平均150人  
午前中は4才以下の幼児の親子3〜4人組利用、クラブ活動毎週水曜日ヨガ教室、課題として児童の年令層に応じたプログラムの内容を充実させる為、職員のスキルアップと支援体制の構築を図っていく事。

**問** 異年令間の交流や数多くの体験活動が出来、児童の人間形成での効果も大きく地域の子育て世代の方々の関心の高い施設みらい児童館の現状は

①事業の内容②児童の利用状況（1日、月平均）③午前中の利用状況④課題は



未来児童館の学習風景



山内 政徳

と納税を受けたというの  
は別立てで考えていかれた  
らいいと思います。地域お  
こしとして徹底して行って  
みては

### ふるさと納税について

答 情報収集をして検討し  
ていきます。

問 ①これまでの実績はどんな  
っているか

②他市町村を調査した事  
あるか

③もつと取り組みを強化し  
ては

①110件、700万円です。  
②今年4月豊見城市を調査  
③伸ばすことを目的という  
ことでもなく読谷村の村づ  
くりに対して共感してくれ  
る方のご寄附をいただいで  
いる。そういった形で条例  
を定めている事を理解して  
いただきたい。

問 地域おこしと考えると皆  
さんが今までおっしゃって  
いた純粋な気持ちのふるさ

### ごみのリサイクルに ついて

問

①リサイクル率は何パーセ  
ントか。またこれから取り  
組む予定何かあるか

答

①リサイクル率は14%とな  
っており、また瓶の三色分  
別や不燃ごみや粗大ごみと  
して扱っている小型家電リ  
サイクル法にのつとった処  
理が可能かどうかについて  
検討しているところです。

②現在の最終処分場への焼  
却残渣搬入可能年数は約18  
年です。



リサイクル率全国一位の  
鹿児島県大崎町の分別風  
景

### 恩納村にある認可外 保育園「子どもの森 保育園」について

問

①読谷村の子供達は何名か  
②補助金は交付しているの  
か

答

①27年9月1日現在で読谷  
村の児童は78名です。

②読谷村の補助金の対象は  
本村に設置された施設とあ  
ります。よって補助金の交  
付はしてありません。

### 防犯灯のLED化に ついて

問

①LED化の現状はどうな  
っているか

答

①新規設置及び不良灯具の  
取り替えの際はLED防犯  
灯を設置しております。



國吉 雅和

### 高齢者福祉について

問 地域支援事業の「介護  
予防事業」・「包括的支援事  
業」・「任意事業」の取り組  
みは

答 介護予防・生活支援サ  
ービス事業の通所型サービ  
スは事業所へ委託。一般介  
護予防事業は「ゆいまーる  
共生事業」の充実を図る。  
包括的支援事業は、認知症  
地域支援推進を配置し、地  
域で認知症サポーター養成  
講座を実施。任意事業は、  
ご本人や介護をする家族を  
対象に現行の事業を充実さ  
せる。

問 「ゆいまーる共生事業」  
の充実

答 お口の中の健康、飲み  
込みの指導、貯筋運動等の  
専門職を派遣し、地域の皆  
さんの力をかりながら充実  
を図る。

問 地域のゴルフ場で年間

1万6千名の70才以上のゴ  
ルフアーがプレイを楽しむ  
ことは、一般介護予防事業  
の地域資源と考えるが

### 村立診療所の運営に ついて

問 十月から半年間研修医  
を受け入れ訪問診療サービ  
ス等の向上を図る。村民向  
けアンケートや医療福祉業  
者等にヒヤリングを行い診  
療所の運営計画に活かす。

答 十月から半年間研修医  
を受け入れ訪問診療サービ  
ス等の向上を図る。村民向  
けアンケートや医療福祉業  
者等にヒヤリングを行い診  
療所の運営計画に活かす。

### 公共工事入札について

問 この十年間大型工事は、  
ほぼ地元受注100%。

問 設計書金額と予定価格  
は同額であるか、また、最  
低制限価格制度の取り入れ  
を求める

答 「歩切り」は行っていない。  
最低制限価格制度は他  
の市町村の動向もかんがみ  
検討する。

問 最低制限を設定してい  
る市町村は

答 沖縄県で約八割。全国  
で約九割が導入している。

質

問



### マイナンバー制度について

できる尚、個人番号カードは申請主義です。

### 教育環境について

小中学校の県外派遣助成は

個人番号の利用や個人番号カードの交付は、平成28年1月1日から始まり、個人番号は年金・医療保険・児童手当等の手続きや給付状況の個人情報の管理に利用する。

マイナンバーの安全性は

個人番号を利用する際は、本人確認を義務付ける。個人情報管理が強化・徹底された制度。

マイナンバーカードの交付手続きをしないと都合が発生するの

個人番号カード(マイナンバーカード)の交付を受けなくても、通知カードと運転免許証などの身分証明書を併用することで、行政サービスを受けることが

小学生718人、中学生67人がスケートボード等を行っている。

ゴールデンエイジの身体能力向上にスケートパーク設置を求める。

他市町村で専用のスケートボード場が設置されており調査検討する。



マイナンバー制度の安全性は



比嘉 幸雄

### 集中豪雨対策について

読谷地域が去年11月28日に一時間雨量65ミリという集中豪雨に見舞われました。

喜名地区ピーターパン保育園一帯が床上浸水寸前で消防も出動したそうです。

また、今年8月15日(土曜日)にも一時間58ミリの雨が降り、床上浸水寸前でした。

村はその一帯の状況を把握しているのか。そしてその対策を伺う。

昨年(2016年)の大雨では消防へ連絡ありましたが、消防が到着するころには雨水等は引いていたという情報はあります。

今年8月の大雨では他地区の状況は把握しているが、当該地区の状況は把握しておりません。

当該地区の対策等につきましては現況の排水路等を調査し、

関係機関と調整し検討したい。



集中豪雨のたび浸水する地域

### 村道改修と安全対策について

波平く残波線の道路改修と安全対策(側溝の蓋、外灯、草刈り、カーブミラー)

歩行者の安全について行政の考えを伺う。

村道波平く残波線の全面的な改修については財源確保が厳しいことや、村道中央残波線の残波岬への延伸計画があるため考えてない。

安全対策は側溝の蓋が設置できる構造でなく転落防止柵などを検討しています。

防犯灯は修繕しそれ以外の防犯灯は廃止する。側溝の草刈り等はそれなりに対応し、道路反射鏡については予算の範囲内で設置します。

読谷村第二次行政改革実施計画のごみ減量化対策プロジェクトについて説明を求める

「年々増え続けるごみ処理に係る経費の負担を軽減するため、村民ぐるみの減量化対策を検討し推進する」循環型社会を構築するための取り組みが各地で行われており、読谷村もそのような取り組みを目指したい。

### 政務活動費を活用した先進地視察よりゴミ減量対策について

読谷村第二次行政改革実施計画のごみ減量化対策プロジェクトについて説明を求める

「年々増え続けるごみ処理に係る経費の負担を軽減するため、村民ぐるみの減量化対策を検討し推進する」循環型社会を構築するための取り組みが各地で行われており、読谷村もそのような取り組みを目指したい。

現状のままではいか

読谷村型ふるさと納税制度の適切な運用について取り組んでいきます。

自主財源プロジェクトはいろんな財源アップを考えないといけないという観点からはどう考えるか

政務活動費を使つての先進地調査研究であり、データも含めて検討させていただきます。

読谷村の取組みは

読谷村型ふるさと納税制度の適切な運用について取り組んでいきます。

自主財源プロジェクトはいろんな財源アップを考えないといけないという観点からはどう考えるか

政務活動費を使つての先進地調査研究であり、データも含めて検討させていただきます。

①自主財源プロジェクト



與那覇徳雄

**村内農用地の遊休農地について**

**問** 平成26年度の遊休農地は何筆で、何㎡か

**答** 26年186筆13万2312㎡

**問** 遊休農用地所有者は、村内外で何名か

**答** 26年村内143筆村外43筆。

**問** 遊休農地所有者に対する指導等は

**答** 農業委員による毎年の利用状況調査、日常の農地パトロール時に農地の適正管理及び貸貸借等の斡旋を継続して行っている。

**問** 農地パトロールの説明

**答** 毎月総会時の提出議案に関する現場調査、農業委員活動として各担当地区のパトロール実施。

**問** 村内外の遊休農地所有

**問** 者に対する指導取り組みは

**答** 農業委員16名で地区割り当て戸別訪問等で農地の売買や貸貸借の斡旋を実施、村外はアンケート調査。

**問** 遊休農地所有者の所在不明者は

**答** 26年実績で17名、20筆。

**問** 遊休農地の利用促進から農地の売買が図られてきたが、3年間の実績結果は

**答** 24年10件11筆、25年11件14筆、26年12件15筆。

**問** 賃貸借の斡旋、3年間の実績結果は

**答** 農地法第3条許可で16件68筆、農業経営基盤整備強化法に基づく利用権設定で148件212筆、合計194件、280筆31万4540㎡。

**問** 遊休農地は雑草、ごみ等が散乱しているが周辺耕作者からの苦情なかったか

**答** 周辺の耕作者から苦情の声は寄せられていない。

**問** 遊休農地の粗大ごみ調査を行ったことがあるか

**答** 調査したことはないが粗大ごみ等があれば関係機関職員で地権者等に指導。

**問** 放置されている遊休農地を役場が借地し、新たに高齢者等の生きがいづくりとして再生できないか

**答** 特定農地貸付法制度含め調査研究を行いたい。

**スポーツ施設について**

**問** 多目的広場に屋根付きの選手控えベンチが設置できないか

**答** 必要性は感じるが、限られた財源から早急な設置は厳しい。

**問** 各種大会開催等、安心・安全かつ快適な社会環境づくりとしてベンチ設置が望まれるが

**答** 大事な施設と認識予算や優先順位等検討必要。

**問** 平和の森球場の冷水器設置について、ニーズ調査後はどの様に検討したか

**健康増進センターの芝生広場の活用について**

**問** 芝生広場の利用状況は

**答** 26年41件利用者896人。

**問** 健康づくり広場とし活用の促進を図ったかどうか

**答** 受講生募集チラシに広場利用について広報する。



**都屋地域における児童生徒の校区の状況を伺う**



神谷 嘉栄

**問** 小・中学校区のそれぞれの現状はどうか

**答** 小学生は大部分が読谷小学校区域となっており、楚辺に近い一部は古堅小学校区域となっている。中学生は、都屋全域が古堅中学校区域となっている。

**問** 地域活動や学校行事に支障はなかったか

**答** 中学校の体育祭やPTA活動等で、保護者が一体となって取り組めなかった状況も聞いており、学事奨励会等において、両小学校の児童生徒が在籍し、違和感があると伺っている。

**問** 多感な年齢を迎えた時期の子ども達の気持ちへの影響がないか

**答** 読谷小から古堅中に入學するということで、友達が少ない、心細い気持ちを持つているということを伺っており、そのために、指定校変更をして読谷中学校への進学を望んでいるものと思われる。

**問** 現状のままでもいいのかどうか、今後はどう考えるか

**答** 教育委員会では、現状に照らし合わせて、校区の見直しを図るべく、前向きに検討している。

**移民出稼ぎ調査編集事業の調査内容を伺う**

**問** 調査員はどの様な構成か

**答** 移民出稼ぎ調査事業において南米のブラジルとポ

質

問







ポリピア村人会旗で出迎えられました

リビアの移住地現地調査を実施、調査期間は平成27年9月3日から10月3日までの31日間で、ブラジル3地域で65世帯、ポリビア4地域で35世帯の合計100世帯を対象とし、調査員は村史編集係長と嘱託職員、移民出稼ぎ調査員、移民体験者の合計4名の構成。

問 調査はどういう項目があるか

答 大きな項目として、I、渡航前の経歴、II、渡航時の状況、III、渡航後の変遷、IV、現在の状況、V、移民関係資料の有無となっている。

学校の中でしまくとぅば(ウチナーグチ)の奨励はできないか

問 授業に限らず学校生活において伝える工夫はできないか

答 教育活動の中でウチナーグチを活用しており、あいさつやウチナーグチラジオ体操等があげられる。

問 発展的に琉歌についても地域の人材は生かせないか

答 三線・琉舞クラブを実施している学校では、地域人材を活用、琉歌に関わる内容等もご指導頂いている。

問 しまくとぅばや琉歌について、他市町村で実践している事例はあるか

答 恩納村の琉歌大賞の取り組み、北谷・嘉手納町の例がある。



城間 勇

防犯予防抑止の取り組みとして、防犯カメラの設置について

問 犯罪の発生を抑えて村民が安全で安心して暮らせるような村内の学校、通学路公園等に防犯カメラの設置が必要だと思いますか

答 現在、役場庁舎、学校におきましては、防犯カメラが設置されております。

問 村立の保育所にも防犯カメラの設置は学校同様、必要ではないか

答 議論をしまして、検討させていただきたい。

問 残波岬公園、泊城公園、車上狙いによる被害が出ていますが、防犯カメラの設置を検討してみたら

答 調査検討してみたい。

古堅南小学校は築三十五年になり、老朽化が進んでいると思えますが、改築計画の目処について

答 各学校校舎の状況調査、財政面を踏まえ、計画的な教育環境の整備に努めてまいります。

梵字碑(アピラウンケン)の移設について

問 梵字碑の設置された経緯をお伺い致します

答 今のところ、海を見渡せる場所にあることから、港の安全、航海の無事を祈って十六世紀前半に真言宗のお坊さん日秀上人の関係者により建立されたと考えられております。

問 泊城公園内の崖地崩落

答 今ある上陸地点の碑、

に伴う梵字碑の移設場所と移設時期について

答 早めに移設をしていきたいということで、渡具知自治会と調整をしてみました。移設場所については現在の位置から約50〜60メートルぐらい西側に移動させたい。

問 移設先の案内表示とか、梵字碑の説明板も設置していただきたい

答 文化振興課とも調整しながら考えていきたい。

第二次世界大戦、米軍沖繩本島上陸拠点之碑建立について

問 一括交付金を活用して、

上陸の拠点となった渡具知西ぬ浜一帯、泊城公園内の入口、パーベキュー施設広場周辺等に新しく第二次世界大戦米軍沖繩本島上陸拠点之碑を建立することは意義があると思えますが

移設を含めてというお話があつたかと思いますが、その当時のいろんな資料とか、そういったものをひもときながら、その場所に建立された経緯、そしてそれに就いてはまた今のパーベキュー広場、またはその泊城公園の海がすぐ隣接するような場所に移設してもよいものかどうかも含めまして、少し意見交換、内部で検討もしていきたい。地元渡具知からの要望もありますので皆さんと協議していきたい。



第二次世界大戦 米軍沖繩本島上陸拠点之碑の建立を



新垣 修幸

**中央残波線沿いに『道の駅』を**

を道の駅として指定道の駅として位置づけられた際には地域連携・地域の振興が図られるものと考えております。

**問** 現在ファーマーズと隣接して読谷村地域振興センターが建設中である。完成後は多岐に渡ってその機能が発揮されるものと期待する。その地区を道の駅として位置づけできないか

**答** 機能を分担させた形で喜名番所も含めて道の駅として指定を受け読谷の知名度アップを

**問** 機能を分担させた形で喜名番所も含めて道の駅として指定を受け読谷の知名度アップを

**答** 南部国道事務所から喜名番所と機能を分ける形で考えてもいいのではないかとアドバイスを受けました。\*早期に指定受けられる様頑張ってください。

**答** 将来において道の駅として位置づけられるよう検討し、取り組みたいと思います。

**問** 全国、県内の件数を伺う

**答** 全国に1,059駅、県内8駅。

**問** 道の駅ができることによる波及効果は?

**答** 休憩・情報発信・地域連帯・三機能を携えたもの

販売価格も一定せず農家所得も安定しませんでした。ゆんた市場が開設してからの販路の拡大、規格外品の換金化、消費者の声をじかに聞け、それが営農技術の向上にもつながっていると思えます。少量でも出荷できることから日々の生活の生きがいづくりや農産物での所得増の効果など更に消費者においては顔の見える安心安全な農産物を安格で購入できる事は健康的経済的農産物等を通して農業への理解が深まっていると考えています。

**問** 機能をもつながらいると思えます。少量でも出荷できることから日々の生活の生きがいづくりや農産物での所得増の効果など更に消費者においては顔の見える安心安全な農産物を安格で購入できる事は健康的経済的農産物等を通して農業への理解が深まっていると考えています。

**問** 年次毎の会員登録数の推移は(個人、法人)

**答** 個人平成23年度617名平成24年度643名、平成25年759名平成26年度776名、法人平成23年度く平成24年度30、平成25年度47、平成26年度46となっております。

**問** ファーマーズゆんた市場の今後の見通しは

**答** 立地環境である農地の

**読谷 ゆんた市場**



ファーマーズマーケット4年目のファーマーズゆんた市場

中にあるファーマーズは県下では読谷しかないことからその地域環境を生かしたオンラインワンな店舗を目指して頂きたいと思えます。そのことが現実できたときは購買者の増加や読谷農産物の認知度アップ観光を含めた分野の相乗効果が図られると考えております。



仲眞 朝雄

**意外な事実! 読谷村民は不健康だった?!**

ない。このチラシが村民の考えるきっかけになればと思う。

**問** 読谷村民は、なぜ65才未満で亡くなる方が多いのか。

**答** 沖縄県の40く65才の心筋梗塞や脳血管疾患による死亡率が全国上位、読谷村も65才未満の死亡原因は、

**問** 『読谷村の女性は、国・県よりも65才未満の死亡率が高い!』という広報チラシが配布されたが

この詳しい内容説明を求む

がん、心疾患、脳血管疾患の生活習慣病が上位。アルコールの過剰摂取、喫煙、肥満、メタボリックシンドロームが原因だと考える。

**答** 沖縄県は早世率、虚血性心疾患による死亡の伸び率が全国一位である。この事は県全体の大きな課題であるが、読谷村も例外では

**問** この広報チラシの効果は。

**答** 一定の反応はあったが受診率は横ばいで、目標には届いていない。実態をし





つってもらう活動を継続する。

**問** その他の改善方法は

**答** 健康診断の受診が重要なので未受診者対策に力を入れる。保健指導の継続と運動による健康づくりを進める。

ロビー、東屋を設置。なお、

新火葬炉は火入れから冷却まで、1時間10分である。

駐車場はマイクロバス3台を含め46台のスペース。

**問** ご遺体の安置、お通夜は可能か

**答** そう言う対応も可能だと考えている。

## 『村民待望の着工!! 『新火葬場について』』

**問** 小規模の葬祭は可能とされているが、小規模葬及び家族葬の定義は

**答** 家族葬とは小規模な葬儀全般を指す。14畳程度の和室を配置、これを家族などのごく限られた近親者による小規模な家族葬を行うスペースとして活用する。

**問** 火を入れてから火葬終了後の拾骨まで、遺族が待合室で待機することも想定しているか

**答** ご遺族待機場所として、待合室（和洋2室）待合い

**問** 場所がら、他市町村からの利用希望が増えないか

**答** 基本的には読谷村、嘉手納町を想定。他については利用規定等をこれから検討していく。

他の質問事項

『文部科学省が実施しているいじめの認知件数調査のやり直しについて』

『大阪府寝屋川市立中学校1年生2名が殺害された事件について当局の見解を伺う』

## 『第8回 村民との意見交換及び議会報告会』を開催しました。

読谷村議会では、下記のとおり『第8回 村民との意見交換及び議会報告会』を開催いたしました。多くの村民の皆様から貴重なご意見・ご要望をお伺いいたしました。

報告書を作成し、皆様へご報告いたします。

ご参加いただきました村民の皆様、大変ありがとうございました。

### 記

11月8日（日） 親志公民館  
12日（木） 喜名公民館  
" 瀬名波公民館  
13日（金） 大灣公民館  
" 波平公民館

11月14日（土） 比謝団地集会所  
17日（火） 宇座公民館  
21日（土） 波平団地集会所



## 読谷村新火葬場の建築工事着工

昭和34年に設置された現在の火葬場は、55年を経て老朽化がみ、その更新が望まれていた。

このほど着工された新たな火葬場は、読谷村の北側（字親志地区）国道58号と村道親志～山田線（多幸山線）に挟まれた場所に立地している。平成28年10月より供用を開始する予定である。

### 特徴として

- 導入される3基の最新鋭の炉は、燃焼効率が高く高い環境性能を持つ。また所要時間が従来の半分程度に短縮される。
- 待合室が設置され、火入れ後施設内での待機が可能となる。
- そのほか炉前ホール、収骨室、待合ロビーを備える。
- 告別式用のホールは設置していない。告別式は従来どおりセーラ苑等を利用させていただく。

①敷地面積：約15,570㎡

②構造・階数：鉄筋コンクリート造（RC造）地上2階建て

③建築面積：約771㎡（延床面積 約1,014㎡）

④主要施設：火葬炉3炉、告別・炉前ホール、収骨室、待合ロビー、待合室等

⑤駐車場台数：乗用車（マイクロバス3台含む）、身障者用など計46台



## りっかりっか読谷村議会

9月定例会での傍聴者は、延べ31名でした。

**平成27年12月定例議会は12月8日(火)からの予定です。**

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 982-9225